

56 スタートアップへの総合的支援

【令和6年度予算概算決定額 270（270）百万円】
（令和5年度補正予算額 400百万円）

＜対策のポイント＞

農林水産・食品分野において新たなビジネスを創出するため、日本版SBIR制度※を活用し、サービス事業体の創出や新たな技術開発・事業化を目指すスタートアップ・中小企業を支援します。あわせて、将来のアグリテックを担う優秀な若手人材を発掘し、研究開発や事業化に関するスキルアップを図ります。

＜事業目標＞

終了課題のうち50%以上において、事業化が有望な研究成果を創出【令和7年度まで】

※中小企業等に対する研究開発補助金等の支出機会の増大を図り、その成果の事業化を支援する省庁横断的な制度（Small/Startup Business Innovation Research）。

＜事業の内容＞

日本版SBIR制度を活用し、これまで推進してきた産学官連携の枠組みと連携しながら、新たな技術開発・事業化を担うスタートアップや若手人材の発掘を支援します。また、スタートアップの前段階となる「創発的研究」の取組を支援します。

1. スーパーアグリクリエーター発掘支援

将来のアグリテックを担う優秀な若手人材を発掘し、研究開発や事業化を強力にサポートします。

2. スタートアップが行う研究開発等の段階的支援

スマート農業技術を活用したサービス事業体の創出やフードテック等の分野で起業を目指すスタートアップが行う、「創発的研究」による事業シーズ創出から実現可能性調査、試作品の作成、社会実証などの取組を切れ目なく支援します。
【フェーズ0～2：上限10百万円/件】

3. プログラムマネージャー等による伴走支援等

ベンチャーキャピタル（VC）等が行う、スタートアップの掘り起こしや国内外の事業会社等とのマッチング、資金調達、インキュベーション施設の効果的活用、海外展開などの伴走支援の取組を支援します。

＜事業の流れ＞

交付（定額）

国 → 生物系特定産業技術研究支援センター → 委託 → 民間団体等（公設試、大学を含む）

＜事業イメージ＞

フェーズ0（発想段階） フェーズ1（構想段階） フェーズ2（実用化段階）

【研究開発等】

「創発的研究」による事業シーズ創出 → 実現可能性調査や概念実証 → 試作品の作成・試験等 →

【支援内容】

研究者・スタートアップ

発想段階から実用化段階まで、研究開発等を切れ目なく支援

優秀な若手人材の発掘支援

プログラマネージャーによる伴走支援

事業化等へ

【プログラマネージャー等による伴走支援】

- ピッチコンテスト等の開催
- 研修等の実施
- チーム組成支援
- インキュベーション施設の活用 等

経営人材、国内外のVCや事業会社とのマッチング等

ESG投資の呼び込みやグローバル展開に向けた環境整備

全ての段階で「スタートアップ・エコシステム拠点都市」※の取組と連携

※ スタートアップ・エコシステム拠点都市
「スタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」（令和元年6月）に基づき選定された拠点都市。現在、4つのグローバル拠点都市と4つの推進拠点都市が選定。

【お問い合わせ先】 農林水産技術会議事務局研究推進課（03-3502-5530）